



第1章 第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画策定の趣旨

1.生涯学習推進基本計画の経緯

苫小牧市では、市民が生涯を通じて学び続けるための環境整備を推進するため、平成3(1991)年1月に苫小牧市教育目標のもとに「苫小牧市生涯学習の基本方針」を制定し、この方針を推進するために、同年3月に「苫小牧市生涯学習推進基本計画(第一次)」を策定しました。その後、現在の第四次まで継続して計画を策定し、その計画に基づき生涯学習の取組を推進してきました。

本市においては、これまでの様々な生涯学習の取組により、学びの場を創出するとともに、企業、市民団体、ボランティア団体やNPO法人などの市民活動の活発化や指定管理者制度の導入により、民間事業者が生涯学習に携わるなど、生涯学習活動提供者の多様化が見られ、市民一人ひとりが「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことのできる環境づくりなど、生涯学習の進展に一定の成果が見られました。

2.第五次計画策定の趣旨

近年の少子・高齢化、地域社会の変容、情報化の進展、経済のグローバル化による雇用形態の変化など急激な社会経済構造の変動とともに、人々のライフスタイル、価値観、人生の指標などの多様化、地方分権などの行政改革の進展に伴う行財政上の変化が進み、これらは生涯学習に関する分野においても大きな影響を及ぼしています。また、地域の絆の希薄化に伴う、地域における課題の複雑化とともに、家庭や地域の教育力低下など様々な生活上の課題も増加しています。

生涯学習に対する近年の社会要請としては、生涯学習は個人の人生を豊かにするものであるとともに、学習成果を地域づくりやまちづくりに生かすことにより、社会全体の発展を実現する基盤となるものと期待されているということがあります。このような状況の変化に対応し、今日的な時代背景、人々の生涯学習に対する考えやニーズを踏まえた取組を進めるなど、一層の整備・充実を図らなければなりません。

これからの生涯学習は、生涯にわたってあらゆる機会、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる生涯学習社会の実現はもとより、社会や地域の様々な課題を解決するための取組を進めていくことが必要です。

そのため、時代の変化などに対応した生涯学習の基本的な考え方と方向性を改めて整理し、これらに基づき関連施策を進めていくことを目的として、「第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画」を策定します。

3.計画の位置付けと期間

この計画は、本市におけるまちづくりの最上位計画である「苫小牧市総合計画（基本構想・第6次基本計画）」の部門別計画と位置づけ、そこに示す「学ぶ喜びがあふれる文化の薫るまち」を目指し、具体化して推進することを目的としています。なお、策定済みの各種目標及び計画との整合性を保ちながら一層の充実を図るとともに、社会情勢の変化などにより見直しが必要な場合は、見直しを検討するものとします。

計画期間：平成30（2018）年度から平成34（2022）年度の5年間

4.策定体制

本計画の策定にあたっては、学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験者などで構成する「苫小牧市社会教育委員会」で審議し、内容の検討とともに、市民アンケートやパブリックコメントにより広く市民から意見をいただきました。

(1)苫小牧市社会教育委員会

平成28年度第3回会議〔平成29（2017）年3月開催〕から平成29年度第5回会議〔平成29（2017）年11月開催〕まで審議を行い、第四次計画の検証や評価、本計画の施策について提言をいただきました。

(2)市民アンケート

計画策定の基礎資料として、平成29（2017）年1月16日から1月31日までの実施期間を設け、住民基本台帳から無作為に抽出した2,000人及び、生涯学習関連14施設において来館者を対象に、生涯学習活動の内容、目的、支障となること、情報の入手先、今後学びたい内容、生涯学習活動を行うにあたっての問題点と解決策、回答者の属性など10項目の設問に対して回答をいただきました。

(3)市民意見募集手続き（パブリックコメント）

平成29（2017）年12月に計画（案）を公表し、市民の皆さまから意見を募集しました。

- ・意見募集期間：平成29（2017）年12月11日から平成30（2018）年1月10日まで
- ・意見と市の考え方：巻末資料37頁に記載しています。